

はじめに

平成14年4月に開学した新潟県立看護大学教職員は、開学当初から平成18年度の学部完成時前の平成17年初頭までには開学以来の現状を記録し、大学将来の課題を明らかにする必要を認識しており、機会あるごとに点検・評価に関する研修を進めて参りました。

平成15年には自己点検評価委員会規程を策定し、委員会組織を立ち上げ、平成16年度に入って以降ほぼ半年をかけて本学の現状を記録する作業を行って参りました。この経過の中で明らかになった課題を含め「本学の現状と課題」にまとめました。このまとめを学外の有識者に評価していただきます。その上で、学内での議論を行い、結果を16年度中に公表いたします。

これら教職員がとり組んできた今回の努力が、今後続く、財団法人大学基準協会の正会員校加盟判定審査による認証評価の申請に反映されますことを希望いたします。

今年度末には併設の新潟県立看護短期大学の閉学があります。平成17年度以降は名実ともに新潟県唯一の単科大学として、また看護の高等教育機関として一層精力的に邁進してゆきます。

本学教職員は開学以来これまでも、本学の使命でもある「地域文化に根ざした看護科学の考究」と向き合い、教育、研究および社会との連携活動に熱心に取り組んできたという自負を持ってありますが、本当に堅実で持続発展型のものになっていたのかどうか、今この時点で皆で考えてみる最良の資料になることでしょう。

最後に懸命に取り組んでこられた、自己点検・評価委員および誠意をもってこの作業に関して下さった教職員の皆様に心から感謝申し上げます。

平成17年 1月

新潟県立看護大学 学長 中島 紀恵子